

21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター および各研究員の活動記録

1. 共同企画

1) 東洋大学大学院&HIRC21&成均館大学（韓国） 共同セミナー

日時: 2018年11月19日(金) 13:30-18:00

テーマ: 日韓における消費者行動研究の現状と未来

企画: 安藤 清志 (東洋大学) 崔 訓碩 (成均館大学校)

場所: 東洋大学白山キャンパス

2) 東洋大学大学院&HIRC21&成均館大学（韓国） 共同セミナー

日時: 2019年2月22日(金) 11:00~17:40

テーマ: アジア社会心理学の最前線

企画: 安藤 清志 (東洋大学) 崔 訓碩 (成均館大学校)

場所: 東洋大学白山キャンパス

3) 社会行動研究会&東洋大学 HIRC21 共催 研究会

【184回】2018年11月24日(土) 16:00~

【講演テーマ】死関連思考の脳情報デコーディング

【講演者】柳澤 邦昭 (京都大学こころの未来研究センター)

【185回】2019年2月22日(金) 16:00~

【講演テーマ】社会経済的地位と対人行動: 認知・行動プロセスに対する重層的アプローチの紹介

【講演者】中島 健一 (広島大学)

2. 論文

Dylman, A. S., Kikutani, M. (2018). The role of semantic processing in reading Japanese orthographies: An investigation using a script-switch paradigm. *Reading and Writing*, 31, 503-531.

Kikutani, M. (2018). Influence of social anxiety on recognition memory for happy and angry faces: Comparison between own-and other-race faces. *Quarterly Journal of Experimental Psychology*, 71, 870-878.

Kollareth, D., Kikutani, M., Shirai, M., Russell, J. A. (in press). Do community and autonomy moral violations elicit different emotions? *International Journal of Psychology*

北村 英哉 (2018). 責任帰属に及ぼす道徳基盤と公正世界信念の影響 東洋大学社会学部紀要, 2,

松田 英子 (2018a). 基礎とイメージをつなぐイメージ研究: 夢イメージと急速眼球運動 イメージ心理学研究, 15, 37-43.

松田 英子 (2018b). 留学生の睡眠問題と心理支援. 東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター研究年報, 15, 101-104.

松田 英子 (2018c). マインドフルネスと認知行動療法. 東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター研究年報, 15, 31-33.

松田 英子・川瀬 洋子 (2018). 統合失調症と認知機能障害: 記憶想起の障害と過剰な夢想起を訴える青年の事例に基づく分析 行動科学, 56, 117-128.

- 米田 健一郎・津田 彰・堀内 聡・三原 健吾・岡村 昌尚・田中 芳幸・伏島 あゆみ・松田 英子・津田 茂子・矢島 潤平（印刷中）. ポジティブ志向, ストレスおよび心身の健康の関連. 行動科学, 57, 1-8.
- 水野 剛也 (2018a). 盆踊りの検閲 第2次大戦時日系アメリカ人集合所における娯楽・余暇メディアの統制 アメリカ史研究, 41, 21~35.
- 水野 剛也 (2018b). 《メディア史料案内》ハワイの日系新聞・雑誌 ハワイ州立大学マノア校ハミルトン図書館の主要所蔵品を中心に メディア史研究, 44, 233~260.
- Yuka Ozaki & Ryuta Takawaki (2019). Construal level and self-control: Abstract thinking promotes decision making against temptations 東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター研究年報, 16,
- Park, E., Kikutani, M., Yogo, M., Suzuki, N., Lee, J.-H. (in press). Influence of culture on categorical structure of emotional words: comparison between Japanese and Korean. *Journal of Cross-Cultural Psychology*

3. 著書

- 堀毛 一也 (2019). ポジティブ心理学的介入研究の現状 現代人のこころのゆくえ6 東洋大学ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター
- 今泉 ちひろ・松田 英子 (2018). 大学生のレジリエンスを高める要因の検討 現代人のこころのゆくえ5 ヒューマンインタラクションの諸相 (pp.83-114) 東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター
- 北村 英哉・唐沢 穰(編著) (2018). 偏見や差別はなぜ起こる? 集団間情動とその淵源 ちとせプレス
- 水野 剛也 (2018a). ジャーナリズム研究の脱西欧 大井 眞二・田村 紀雄・鈴木 雄雅 (編・著) 日本における学術研究のこれまでとこれから現代ジャーナリズムを学ぶ人のために 第2版 (pp.256~273) 世界思想社
- 水野 剛也 (2018b). 浅野七之助 日本にも影響与えた日系人ジャーナリスト 土屋 礼子・井川 充雄(編・著) 近代日本メディア人物誌 ジャーナリスト編 (pp.227~228) ミネルヴァ書房
- 水野 剛也 (2019). 有刺鉄線内の市民的自由 日系人戦時集合所と言論・報道統制 法政大学出版局
- 中川 瑞己・松田 英子 (2018). マインドフルネス瞑想による脱中心化が自己制御に与える影響 現代人のこころのゆくえ5 ヒューマンインタラクションの諸相 (pp.61-81) 東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター
- 佐藤 浩平・松田 英子 (2018). 現代の日本人大学生のアパシー傾向に関する縦断研究 現代人のこころのゆくえ5 ヒューマンインタラクションの諸相 (pp.43-60) 東洋大学 21 世紀ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター
- 須田 木綿子・平岡 公一・森川 美恵(編著) (2018). 東アジアの高齢者ケア: 国・地域・家族のゆくえ 東信堂
- 内田 由紀子・堀毛 一也 (2018). ポジティブ心理学の測定と評価 鈴木伸一 (編著) 健康心理学の測定法・アセスメント (pp.193-213) ナカニシヤ出版

4. シンポジウム

堀毛一也

- 第37回日本心理臨床学会シンポジウム(指定討論) 異なる領域でのポジティブエクササイズの実験 2018年9月(神戸国際会議場)
- 第82回日本心理学会シンポジウム(企画、司会、話題提供) 日本におけるポジティブ心理学研究の最前線 2018年9月(東北大学)
- 第72回東北心理学会(特別講演) ポジティブなこころの科学 2018年

北村英哉

- 日本心理学会第82回大会(指定討論者) ネガティブな心と浮かぶ記憶・思考との付き合い方: 認知・社会・

臨床心理学からのアプローチ 2018年9月27日 仙台国際センター（仙台）

日本心理学会第82回大会（指定討論者） 正義は人の為ならず—公正推論から描く「シャールフロイデ」の輪郭— 2018年9月27日 仙台国際センター（仙台）

松田英子

Second international conference of healthier societies fostering healthy organizations. （国際学会発表・口頭・招待シンポジウム） Cognitive Behavioral Therapy to cope with sleep disturbance: Japanese young adults have need of non-pharmacological treatment for improving sleep quality. 2018年8月31日 University of Florence, Italy.

5. 講演

尾崎由佳

Psychology Talk Series, Organized by SKKU BK21 Plus Research Group for Training Empathy-Based Leadership
Self-control in daily life: Investigating everyday experiences of desires and control motivations through the experience sampling method. 2018年5月2日 成均館大学（大韓民国）

6. 研究交流会（研究会）

安藤清志

航空事故犠牲者遺族の心理—名古屋空港中華航空機墜落事故の事例から 認定心理士の会第1回関東セミナー
2018年6月28日 東洋大学
欺瞞的説得と「変容を促す」消費者研究 日韓（中央大学校・光云大学校・東洋大学）共同セミナー 「消費者行動の社会心理学」 2018年10月19日 東洋大学

北村英哉

科研費研究会（基盤B 代表者 中村真 宇都宮大学）・第13回日本感情心理学会セミナー講演 「偏見と差別の仕組み」 福岡大学
東洋大学 HIRC21 & 成均館大学 日韓研究交流会 恨み忌避感をめぐる人間関係を規定する文化的宗教心
「信頼」概念に関する国際比較研究：応用倫理・実験哲学的アプローチ（科研費(B)水谷雅彦 代表）講演
信頼回復：責任帰属とBlameの文化差をめぐって 2019年3月21日 京都大学

松田英子

Youngsun Yuk, Eiko Matsuda, & Kiyoshi Ando (2018) The Reliability and Validity of the Korean Version of Ten-Item Personality Inventory (TIPI-K) (Oral Presentations) Toyo hirc21- Hallym University Joint Symposium (Toyo University, Tokyo) 2018年2月24日
平成30年度警察庁健康管理担当者研修会及び全国保健師等研修会 「メンタルヘルス対策（過労死等防止対策、惨事ストレス対策）」 警察庁 2019年2月4日

7. 学会発表

Kazuya HORIKE & Hiroko HORIKE (2018). Differences of lay theories promoting subjective well-being. 9th European Conference on Positive Psychology (June, Budapest, Hungary)
堀毛 一也・堀毛 裕子 (2018a). ウェル・ビーイング活性化に関する web 介入の試み — (1) 介入内容の選択に関する調査結果— 第59回日本社会心理学会（追手門学院大学、8月）

- Kazuya HORIKE & Hiroko HORIKE (2018b). Three-stage online study for promoting the happiness. The 2nd International Conference on Well-being. (Nov, Singapore, Singapore)
- Kazuya HORIKE & Hiroko HORIKE (2019). Positive activities fit for various aspects of subject well-being in Japanese. Society for Personality and Social Psychology (SPSP) 2019 Annual Convention(Feb., Portland, Oregon, U.S.A)
- 今泉 ちひろ・松田 英子 (2018). 学生のレジリエンスを高める要因の検討 日本行動科学学会第 34 回ウィンターカンファレンス (岩手県立大学) 2017 年 3 月 10 日
- Lu Jingyi, & Eiko Matsuda (2018). The Relationship between the Obsessive-Compulsive Tendency and the Mental Health of Japanese and Chinese Undergraduates. The 9th AAICP International conference in University Malaysia Sabah. 2018 年 7 月 26 日
- 北村 英哉・小林 麻衣・木村 はるか (2018a). 恨まれる状況の喚起と恨み忌避傾向が他者の表情検出に及ぼす効果—怒り、悲しみ、喜びの表情からの感情読み取り課題を通して— 日本社会心理学会第 59 回大会 2018 年 8 月 28 日 追手門学院大学
- 北村英哉・小林麻衣・木村はるか (2018b). 恨み忌避感尺度の作成と妥当性の検証 日本感情心理学会第 26 回大会発表論文集
- 松田 英子 (2018). 留学生の睡眠問題と心理支援 日本行動科学学会第 34 回ウィンターカンファレンス (岩手県立大学) 2017 年 3 月 10 日
- Eiko Matsuda (2018). Influence of University Students Life Stressor and Sleep Disturbance on Depression: Cross-cultural survey in Japanese and Chinese undergraduates. The 9th AAICP International conference in University Malaysia Sabah. 2018 年 7 月 26 日
- 松田 英子・岡田 斉 (2018a). タイプ A 行動パターンと睡眠問題不眠, 悪夢の頻度, 苦痛度および自殺企図の分析 日本健康心理学会第 31 回大会 (京都橘大学) 2018 年 6 月 23 日
- 松田 英子・岡田 斉 (2018b). タイプ A 行動パターンと夢想起の関連—夢想起の内容別頻度, 感覚モダリティおよび情動の分析— 日本パーソナリティ心理学会第 27 回大会 (立命館大学) 2018 年 8 月 26 日
- 松田 英子・松岡 和生・岡田 斉 (2018). 発達障害と夢の特徴に関する調査報告 日本イメージ心理学会第 19 回大会 2018 年 11 月 4 日
- 中川 瑞巳・松田 英子 (2018). マインドフルネス瞑想による脱中心化が自己制御に与える影響 日本行動科学学会第 34 回ウィンターカンファレンス (岩手県立大学) 2017 年 3 月 10 日
- 中川 萌・松田 英子 (2018). 共感性, 援助規範意識, 心理的負債感が向社会的行動に及ぼす影響について 日本行動科学学会第 34 回ウィンターカンファレンス (岩手県立大学) 2017 年 3 月 10 日
- 岡田 斉・松田 英子 (2018). 大学生を対象とした悪夢の内容別頻度についての調査—苦痛度が高い悪夢の内容を探る— 日本イメージ心理学会第 19 回大会 2018 年 11 月 4 日
- 王 尚・松田 英子 (2018). 睡眠の質に影響を与えるストレスフル・ライフイベント及び気分の検討—日本人大学生と中国人大学生の比較— 日本健康心理学会第 31 回大会 (京都橘大学) 2018 年 6 月 23 日
- Yuka Ozaki, Yuri Amemiya & Fumiaki Taka (2019). Stress Mindset Attenuates the Stress Response in Interpersonal Conflicts: Evaluating within-Person and between-Person Effects 3rd Biennial International Convention of Psychological Science Paris, France 2019 年 3 月 7 日
- 佐藤 栄晃・北村 英哉 (2018). 他者からの恨み感受性尺度作成の試み 日本社会心理学会第 59 回大会 2018 年 8 月 28 日 追手門学院大学
- 下川 和真・松田 英子 (2018). 中川瑞巳・松田英子 (東洋大学社会学部) マインドフルネス瞑想による脱中心化が自己制御に与える影響 日本行動科学学会第 34 回ウィンターカンファレンス (岩手県立大学) 2017 年 3 月 10 日
- 須田 木綿子 (2018a). 老年社会科学研究のための研究倫理 老年社会科学会第 60 回大会・研究倫理委員会企画セッション. 2018 年 6 月 10 日: 日本教育会館
- 須田 木綿子 (2018b). 非営利—営利サービス供給組織のエコロジー: Middle-ground approach 第 16 回福祉社会科学会年次大会 2018 年 6 月 17 日: 中京大学

Yuko Suda (2018). Manifest and latent functions of nonprofit and for-profit organizations: Long-Term Care Insurance System in Japan. ARNOVA 47th Annual Conference. Austin, Texas, USA: Nov. 15-17

渡邊 あゆみ・松田 英子 (2018). 中学生の不登校傾向と無気力感およびソーシャルサポートの関連の検討 日本行動科学学会第 34 回ウィンターカンファレンス (岩手県立大学) 2017 年 3 月 10 日

Youngsun Yuk, Eiko Matsuda, Kiyoshi Ando, & Shang E. Ha (2018). The Reliability and Validity of Ten-Item Personality Inventory (TIPI): comparison among America, Germany, China, Japan and Korea. 2018 Annual Conference of the Korean Psychological Association (Seoul) 2018 年 8 月 17 日

8. その他

水野 剛也 (2018). 『不忠誠』と烙印押された日本人 実父の足跡を追ったノンフィクション」 川手晴雄 『NO-NO BOY 日系人強制収容と闘った父の記録』 (KADOKAWA、2018 年)、『週刊読書人』2018 年 8 月 24 日号 : 6.

※プロジェクトに参加するメンバーは以下の通りである。

〔研究員〕

安藤清志（東洋大学社会学部教授）〔統括責任者〕
大島尚（東洋大学社会学部教授）
北村英哉（東洋大学社会学部教授）
戸梶亜紀彦（東洋大学社会学部教授）
桐生正幸（東洋大学社会学部教授）
西野理子（東洋大学社会学部教授）
須田木綿子（東洋大学社会学部教授）
水野剛也（東洋大学社会学部教授）
松田英子（東洋大学社会学部教授）
尾崎由佳（東洋大学社会学部准教授）
菊谷まり子（東洋大学社会学部助教）

〔客員研究員〕

堀毛一也（東洋大学 HIRC21）
鈴木規子（早稲田大学社会科学部准教授）
島田恭子（東洋大学 HIRC21）

〔研究支援者〕

高橋幸子（東洋大学 HIRC21）
新井田恵美（東洋大学 HIRC21）

〔リサーチ・アシスタント〕

鷹阪龍太（東洋大学大学院社会学研究科）
陸英善（東洋大学大学院社会学研究科）
倉矢匠（東洋大学大学院社会学研究科）
金子迪大（東洋大学大学院社会学研究科）
杏澤岳（東洋大学大学院社会学研究科）